

矢口西小学校 11月16日(土)

矢口西小学校の体育館に集合して、13時～16時訓練が行われました。

現在改築中のため、例年とは異なる各教室のレイアウトでした。毎年少しづつレイアウトが違うため、開錠から新しいことを覚えていくことになります。内容は同じでも、形態が違くと、「激甚災害」の時が心配です。また、ほんの少しのメンバーの入れ替えでも、活動が滞ってしまうことがあるということを発見し、各部全員で共有することの大切さがわかりました。



トイレの組立訓練

千鳥小学校 11月23日(土)

今回は風水害時を想定し、参加者37名が3つの班に分かれて開設・避難者受付訓練を行いました。

「受付班」では受付の設営・避難者受付訓練、「開設班」では避難場所の開設と簡易トイレの組み立て、「運営班」では掲示物や照明の設置と避難者誘導訓練を行い、発災時の動きを確認しました。参加した方からは「実際に動いてみるといろいろな改善点が出てくる。訓練の継続でよりよいものにしていきたい。」という感想があがりました。



訓練中の様子

矢口中学校 12月7日(土)

今回の訓練目的は、訓練用マニュアルを活用して改善案の実用性を検証することでした。これに基づいてマニュアルを修正しました。

訓練想定は、日中に震度5強の地震が発生。点検が済み矢口中学校を避難所として開設することが決定した段階です。

総務部・情報班、福祉衛生部は避難者の受け入れのため、各種案内掲示物の掲示及び受付を設置し避難者の受け入れ及び避難スペースへの誘導を行いました。

施設部・物資管理部は簡易トイレだけでは賄うことができなくなり、仮設トイレ(和式1台・洋式1台)を組立設置しました。

学校防災活動拠点訓練

避難所だけでなく、「情報拠点」「地域活動拠点」の機能も併せ持つ地域の防災活動拠点となる学校で防災訓練を行いました。

多摩川小学校 11月30日(土)

感染症対策を考慮した訓練は令和3年度受入れ訓練、令和4年度初動訓練、令和5年度は夜間を想定した開設訓練が行われてきました。令和6年度は①本部②本部情報班③総務部④施設部⑤物資管理部⑥衛生部⑦福祉相談部⑧地域活動部で避難所運営の実施を行いました。

訓練に先立ち、11月12日に行った図上訓練で出た課題と対策の確認作業を行いました。

矢口消防署による応急手当・AED訓練には衛生部・福祉相談部と地域の避難者役が参加し、施設部・物資管理部にも避難者役が途中参加しました。

避難者受付の人手が足りない、トランシーバーが繋がらない、本部に連絡がないなど問題は色々見つかりました。校長先生は、東日本大震災で経験した中で「臨機応変に動く」ことが大切と話されていました。



放水訓練中

地域活動部は地域の被災状況や要配慮者の把握・支援のため見回り・防犯活動を行いました。要配慮者の自宅を地図に従って見回りを行いました。

訓練後各部・班において設置作業や避難者の誘導などの改善すべき点をまとめ発表を行いました。これらを基に次回までにマニュアルの修正を行います。この積み重ねでより良いマニュアルができ、スムーズな対応が取れるようになります。

最後に女性ワーキンググループによる「避難所でのトイレの使用方法・運用」の発表があり、避難所のトイレの清潔面・運用面での提案をしました。



トイレ組立訓練

下丸子四丁目町会 10月27日(日)

下丸子諏訪神社で防災訓練を行いました。

今年度の訓練は、企業の社員等のスキルを活かしたボランティア活動「プロボノ」の仕組みを取り入れた「まちの応援プロボノチーム」と連携して開催しました。

これまで実施してきた消防団の初期消火訓練等に加え、防災クイズや簡易トイレの実験、間違い探しなど、親子で楽しみながら学べるコンテンツを新たに取り入れられました。道路を通りがかった親子連れの方が足を止めてくれることも多く、本訓練が防災に興味を持つきっかけとなり、地域全体の意識醸成につながっていくことを願います。



初期消火訓練

自治会・町会防災訓練

秋に防災訓練などを行った自治会・町会をご紹介します。

アルス多摩川自治会 10月6日(日)

マンションの中庭にて防災訓練が行われました。住民と矢口消防署の署員合わせて約300名が参加しました。

30mはしご車を用いての救助訓練など、マンション特有の訓練が実施されました。



はしご車の見学

東京サーハウス自治会 10月14日(月・祝)

防災訓練では、実際に家庭にある消火器を使っての使用体験訓練を始めとして、起震車、煙体験ハウス、AED使用訓練、家具転倒防止DVD上映などを行いました。



消火器使用訓練

古市町会 11月4日(月・振休)

秋晴れに恵まれ、合計151名が参加しました。

まちかど訓練(投てきバック・バケツリレー・三角バケツ・消火器での初期消火訓練・三角巾の使い方)を各現場で行いました。また、担架、リヤカー、車椅子などで東八幡神社境内に集結し、通報訓練、煙体験、家屋倒壊現場体験、心肺蘇生訓練(AED)、発電機やバッテリーの説明もありました。

最後に市民消防隊による延焼防止訓練を実施しました。

矢口消防署・矢口特別出張所・矢口消防団第四分団のご協力を得て無事盛會に終了できたことを感謝します。



参加賞(ランタン等)

下丸子三丁目町会 11月10日(日)

参加者110名が防災訓練に10時～12時まで参加しました。「地域の底力発展事業助成金」を活用して購入したソーラーパネルを組み立て、蓄電池の設置を行いました。煙体験、応急処置、初期消火、AED操作訓練と「かまど炊き出し」で「芋煮」をして、参加者に振舞いました。

太陽光の影がありますが、午前中は曇天のため、予め充電していた充電機から通信機器、スマホに充電しました。

それぞれの訓練は毎回のようにしていますが、町会の皆さんにも体験してほしいです。



ソーラーパネルの組立練習

下丸子27号自治会 11月17日(日)

今年度、防災訓練の実施にあたり、「高齢者、障がい者、要介護者向けの避難訓練」を初めて導入しました。

事前に矢口消防署と綿密な打ち合わせをし、訓練当日は日常から車いすを使われている方にご協力をいただき階段の補助昇降を体験、またダミー人形を使っての搬送体験(担架も使用)をおこないました。

居住者126名参加の中、多くの高齢者や女性の方々も積極的に参加くださり、実際に体験することで有意義な経験ができたとの声もいただきました。初めての訓練内容ということもあり、まだまだ課題も残りましたが、次回の防災訓練に向けて訓練内容のスキルアップを目指したいと思います。

ご協力いただきました矢口消防署のみなさま、ありがとうございました。



車いすの救助訓練

矢口二丁目16号館自治会 11月2日(土)

雨のため公園で行なう煙体験・初期消火・通報訓練は中止になり、雨天時の安否確認、消防署の講話等を実施しました。安否確認できた部屋にはクラッカー(非常食)を配布。また安否確認をしている時3・6・9・12階の係はトランシーバーの通話訓練もしました。初めての体験です。ボタンを押す時、通話時のタイミングが合わず、まごつきました。

安否確認後は集会室でカセットボンベ式の発電機で、充電器を通して点灯確認。消防署の方に防災関連の話をしていただき、署員の問いかけに参加者は、防災意識を再確認する機会になりました。



消防署の講話

ザ・リバープレイス自治会 11月9日(土)

高齢になり足腰が弱ってくると自宅にこもりがちで、周囲の人と接する機会も少なくフレイルや車いす、介護の必要が懸念されます。通常の車いすでは上り下りや介助の負担は大きく、電動車いすが要望されています。11月9日(土)、自治会イベント「リバープレの日」の一環として「大田区地域包括支援センターやぐち」のご協力により、電動車いす試乗体験を行いました。



電動車いす試乗体験

ブラウトリエ自治会 12月8日(日)

ブラウトリエ管理組合の協力と矢口消防署の指導を得て、同日午前中に防火防災訓練を開催致しました。コロナで中止しており、久しぶりの防火防災訓練でした。以下の項目について、参加居住者が2つのグループに分かれ、グループの各々が複数個所に移動して訓練を行いました。①AED応急救護訓練②けが人搬送訓練(階段搬送)③消火訓練④駐車場の移動式粉末消火設備の説明⑤防災備品の展示説明と発電機・ライトの稼働・防火服着用、消防車見学(お子様向け)以上の項目を終了した後、参加者にレトルト食品、クラッカー、簡易トイレを配布致しました。



訓練中の様子

市民消防隊等合同訓練 11月17日(日)

多摩川清掃工場にて「市民消防隊等合同訓練」が開催されました。この訓練は田園調布消防署・矢口消防署が合同で開催したもので、田園調布管内からは22の自治会、矢口管内からは16の自治会の市民消防隊が参加し、会場は田園調布・矢口の2カ所に分けて行われました。

各自治会からは、男性5名、女性3名から成るミニポンプ隊の2チームが参加し訓練の成果を披露しました。消火栓からポンプ・ホースを接続し、火点標的に向けて放水するという基本的な一連の動作で、指揮者の合図の下で訓練を行いました。

市民消防隊員は、日頃は各自の仕事に従事し、休日に訓練を行い、いざというときに連携がとれるようにしています。こうした方が身近にいることは心強いです。年末年始は火災が増える時期ですが、火災予防に心がけ、火事を出さないようにすることが第一です。



放水訓練